

WEB 連載 Entertainment・Essay

木村奈保子の
音のまにまに

Written By NAHOKO KIMURA

今こそ、Go to シアター！

木村奈保子の音のまにまに | 第26号

コロナ禍の映画界は、欧米大作の公開延期続きが続き、007シリーズもやっと公開日が決定したばかりだが、日本では話題のアニメ「鬼滅の刃」がヒット、

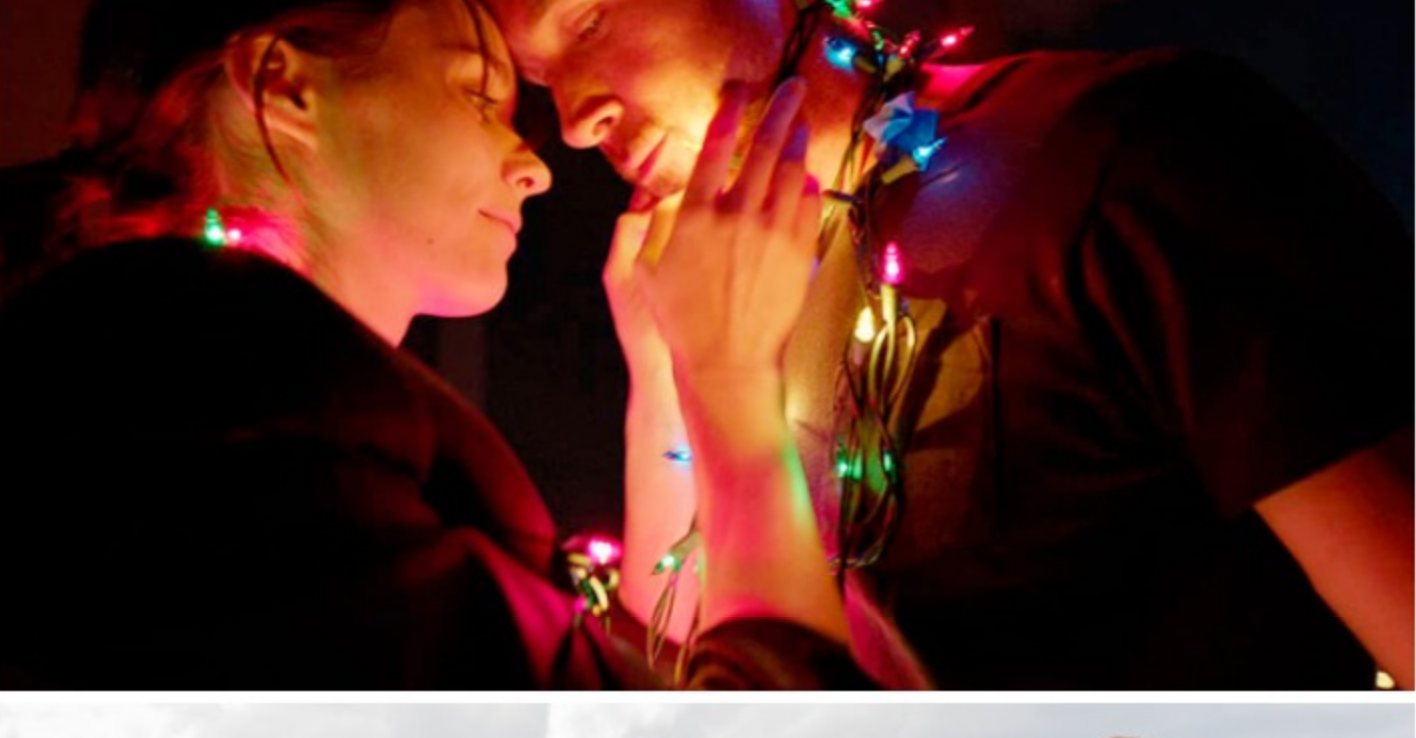
こうした時期に、並んで映画館に足を運ぶ人々の姿を見ると、じーんとする。

だいたい、人々が集まって看电影に集中する姿は、会話をしない映画館ほど、コロナ前に選んだ場所はないと思うものだろう。

政府はもっと、Go to トラベルやGo to イート以上に、Go to シネマ、Go to シアター、コンサートなど、文化度の高いものに力を入れてほしいものだ。

さて、今回は、男女の複雑な恋愛を軸に、音楽業界で展開する物語から。
映画「ソング・トゥ・ソング」は、アメリカ、テキサス州のオースティンを舞台に、何者かになりたいリーダーヒロイン（ルーニー・マラー）が、大物プロデューサー（マイケル・ファスベンダー）に誘われて男女関係に踏み入れながら、もう一人の男性（ライアン・ゴズリング）とも惹かれあい、はたまた別の女性（ナタリー・ポートマン）も加わる四角関係へ。
ちなみに、ヒロインのマラーは、あのホアキン「ジョーカー」フェニックスのパートナーで、昨今子供を産み、リバー・フェニックスと名付けたばかり。

本作は、こうしたスターたちが演じる4人の恋愛模様、男女関係を静かなテンポで、ちんたら（ごめんない）描きながら、ほかにモカイト・ブランシェット、ホリー・ハンター、パティ・スミス……とフェミニズム系の大女優、歌手が次々と登場。それも、これみよがしではない感じでさりりと出演する。ロックバンドのシーンには、よくみえないとわからない自然さで、ヴァル・キルマーが演奏している、まったく油断ならないキャストینگだ。
大スターらが、一見推しかわからない見せ方は、黒澤的な演出手法のよう。
いわゆるアメリカ映画として明快に進んでいく演出ではない。テレンス・マリック監督は、「ツリー・オブ・ライフ」でカンヌ、バリュムール受賞など、欧州的な格調高さをもって、曖昧複雑な人間の感情を扱う。
レッド・ボット・チリ・ペッパーズなど、リアルな音楽シーンもはさみながら、だらしないような、つかみどころのないようなヒロインたちの愛の行方が、ゆっくりと時間と音楽のリズムでバランスをとりながら、語られる。意外と、モラル感のある方向に向かうところは、倫理を重んじる監督のビジョンが、音楽業界の方々も必見の作品だ。



一方、映画「シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい」は、フランス映画ながら、アメリカンタッチのロメティセンスあふれる華やかな作品だ。

そもそも私は、シラノにもコスチュームものにも恋愛ものにも興味が薄く、出演者、監督も日本では知られていないため、ちょっと期待薄ではあったのだが、なんと意外にもかなり面白い。

本作は、シラノ・ド・ベルジュラックの戯曲を29歳で書いたエドモン・ロスタンの物語。監督は、エドモンの肖像を襲って、このヒット作の裏側を創作した。にっちもさっちもないところまで落ちていたエドモンは、たった3週間、戯曲を仕上げるが、そのネタもあてもない。現実には、仕事仲間でハンサムな俳優と衣装係の美女の恋愛関係に協力するはめに、真摯な俳優は、詩的な言葉を欲する美女にブローチするために、戯曲家、エドモンの創意的な美しい言葉が必要なのだ。
かくして、いやいやながら引き受けた友人の恋愛関係に対応するうち、エドモンは、美女との言葉のやり取りに刺激を受け、それを自分の脚本に採用していく。
エドモン＝シラノ・ド・ベルジュラックなのだ。

もはやエドモンは、精密に考慮して、何かを創っていくという余裕はない。こうした思い付きとにわかキャスティングで次々にクリエイトしていくさまが、裏にリアルで面白い。それが、舞台の準備中であれ、本番中であれ、ハプニングとアクシデントの連続の中で、どこまでも対応していく、アドリブワールドだ。

私も、かつて番組制作をしていたときは、こんなアドリブばかりだった。
「1週間後に30分番組、作ってね」「3週間後で1時間もの、作ってね」と、映画の特番演出も、いつもぎりぎりで解まれたが、映画の撮影も終了し、インタビュー素材もない状態で、何をしろと？
しかしそういうときこそ、次から次へと考えがあふれてきて、雑ながらも、はやめやかなことができる。それがクリエイトする。ということだったのか、と振り返る。まさに自分がしてきたことは、コメディだったのだ。

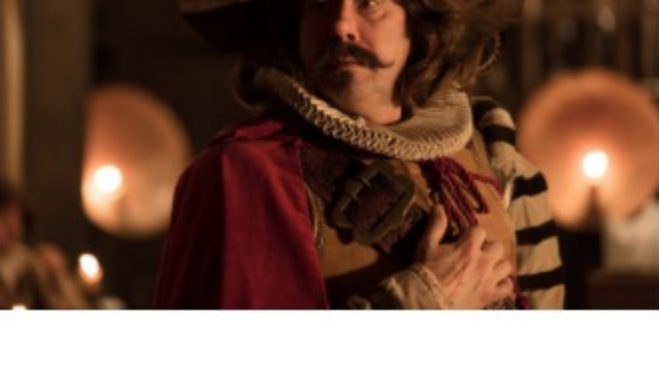
企画書を書いて、予算をしっかりと詰めて、打ち合わせとリハを重ねて、大勢が納得して……という方向で作るよりも、初期のこうしたアタフタ時代こそが、自由でクリエイティブだ、とつくづく思う。

本作は、文化的なフランス映画のていを見せながら、アメリカチックなドラマでユーモアのセンスもあふれ、シラノをベースにした現代劇として観たい。

また、既婚者エドモンが、友人の恋の相手と、激しい愛の言葉をやりとりする関係について、妻はどう見るのか？

男にとって、恋の刺激は、芸の肥やしというべきなのか？
そうした男女関係を現代風に倫理的に解決していくかのような展開。結末も、女性心理を見据えた新しさを感じる。

まさに、Go to シアター！の気持ちになるお芝居、映画の魅力がいっぱい。



『ソング・トゥ・ソング』
監督・脚本：テレンス・マリック
出演：ルーニー・マラー、ライアン・ゴズリング、マイケル・ファスベンダー、ナタリー・ポートマン、グレイ・ブランシェット、ホリー・ハンター、パレニス・マルロー、ヴァル・キルマー、リッキー・リー、イギー・ポップ、パティ・スミス、ジョン・ライランド、フロレンス・ウェルチ、レッド・ボット・チリ・ペッパーズ
2017年/アメリカ/128分/シネマスコープ/カラー/5.1ch/PG12/
配給：AMGエンタテインメント 提供：キングレコード、AMGエンタテインメント

© 2017 Buckeye Pictures, LLC
<https://songtosong.jp/>
＊12/25（金）新宿シネマカリテ、ヒューマントラストシネマ渋谷ほか全国公開＊
『シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい！』
監督・原案・脚本：アレクシス・ミシャリク
出演：トマ・ソリヴェレス、オリヴィエ・グルズ、マティルド・セニエ、トム・レープ、リュシー・ブジュエ
2018年/フランス/112min/カラー/5.1ch/原題：Edmond
配給：キノフィルムズ/東京テアトル 提供：木下グループ
© LEGENDE FILMS - EZRA - GAUMONT - FRANCE 2 CINEMA - EZRA - NEXUS FACTORY - UMEDIA, ROSEMONDE FILMS - C2M PRODUCTIONS
<https://cyranoninitai.com/>
＊11月13日（金）よりヒューマントラストシネマ有楽町ほか全国ロードショー＊



木村奈保子
作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
NAHOK（ナックデザイナー）、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
www.kimuranahoko.com

NAHOK Information



木村奈保子さんがプロデュースする“NAHOK”は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「温度調整」「衝撃吸収」機能の楽器ケースで、世界第一級の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。
Made in Japan / Fabric from Germany
問合せ＆詳細はNAHOK公式サイトへ

PRODUCTS

C管フルート&ピッコロバッグII「Blanchett /wfi」
横置き型でフルート・ピッコロの2本を重ね入れできますが、追加でフルートもう1本が収納できます。
また、C管フルートW用としても収納可能です。
諸画は、U状に曲げて入れられます。スコープの約半分のサイズで、垂直にハードケースを入れたまま持ち運びでき、財布やスマホなど、軽小物も入るエレガントスタイルのバッグ型です。
手持ちハンドル＋ショルダーストラップ付きでたすきがけが可能です。



前の記事

- >>> BACK NUMBER
- [第19回：ウィルス。より怖いのは……](#)
[第20回：主と死。まりきりの映画で見つる答えとは？](#)
[第21回：芸術。文化は様子をめぐり](#)
[第22回：新しい生活様式とともに。新たな文化を……](#)
[第23回：民族の血とブルース](#)
[第24回：“オオミズミ”の強烈なメッセージ](#)
[第25回：まっとうなヒロイン像の“継承”](#)

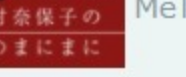


＜前の記事＞



まっとうなヒロイン像の“継承”

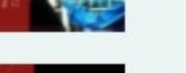
関連記事 |



MeTooの土壌、日本では？ | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号



女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号



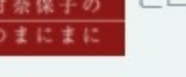
知るべきすべては音楽の中に――楽器を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号



ヒロイックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号



エリック・クラプトン～サウンドとからむ生きさまの物語～ | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号



新しい生活様式とともに。新たな文化を…… | 木村奈保子の音のまにまに | 第22号



看板ではなく感性で聴くことから文化が高まる | 木村奈保子の音のまにまに | 第8号



平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号

アーティストの言葉に触れよう BackNumber

Cover Story

フルートのコンサート情報をお届けします。

PDF Download

アルソ出版
発刊楽譜
ダウンロード販売
スタート！





THE FLUTE vol.178
THE FLUTE | バックナンバー
FLUTE CLUB入会・更新はこちら
フルート楽譜一覧

ENTRY 投稿・応募

>>> THE FLUTE アンケートへ戻る

KAWAI Music School
レッスン新着

Brand guide
メドノームと上手に
付き合うと楽器がうまくなる
あなたにも必要なアイテムの紹介

KORG
フルート記事
オリビアを聴き...
オリビアを聴きながら「古風」
思いつくでやきやきない | 村上ゆき
赤いスイートピー | 松田新子
春香たち | 松山真衣
未来予想図 | Dreams Come True
夢をあきらめないで | 岡村孝子
恋はあまらぬ | L'amour est bleu
ロビンソン | スピッツ
君の瞳に恋してる | I can't take...
PIECE OF MY WISH | 今井美樹
Hello, Again～春からある場所～ | 2K
Can You Celebrate? | 安室奈美恵
飛べないで | ZARD
夜空ノムコウ | SMAP
ALSonline
フルート楽譜楽譜
Cookie policy

多人数の先生と生徒 友だちどうし
2人でできる！
フルートデュオ
ア・ラ・カルト
楽譜の特殊奏法を解説！
THE FLUTE
DUO
LA CARTE

The Flute ザ・フルート
2008年創刊
おすすめ THE FLUTE 178号特集
「レバントリーを遊ぶよう P4R73」
「フュージョン＆ポップスを奏でる」！
ウェブ中のYouTuberでもあるフルーティストの方々によるレッスンと、
お手本動画を掲載しています！
雑誌はもちろん、フルートオンライン
有料会員になってWEBで見ること
もできますよ。もっと見る

HOT VIEW

今話題の人気記事

フルート記事 | フルード記事

File16 | 移動手段の失敗 リンクスのフルートしぐし



I LOVE...
4 IT LOVE...!

ARTIST



石井希衣の教えて！コンテスト 第7回 |
岩崎祐保

REPORT



OMENS
OF LOVE
3 TOMENS OF LOVE

ARTIST



防音入門
“おうち時間フルートとともに” 防音入門

HISTORY



新・国産フルート物語
【第12回】新宿橋フルート物語 東京・下町の工場から世界へ「イヴォフルート」

ARTIST



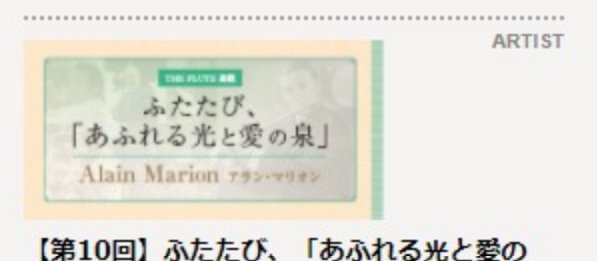
藤枝伸介
誰やかに創られる。音楽と映画の世界 | 藤枝伸介

ARTIST



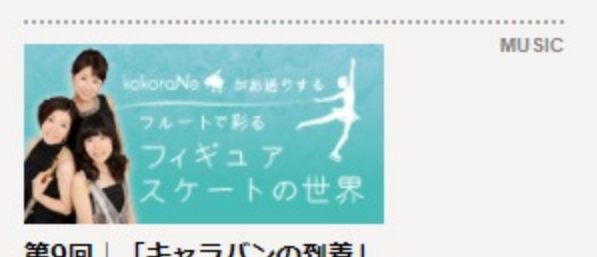
渡井麻生代のJAZZ店
渡井麻生代のJAZZ店探訪 | 第7回

ARTIST



「あふれる光と愛の泉」
【第10回】みたたび、「あふれる光と愛の泉」

REPORT



みたたび「キャラバンの物語」
第9回 | 「キャラバンの物語」